

令和4年度 出雲市戦没者追悼・平和祈念式典 戦没者追悼・平和祈念のことば

本日、ここに出雲市民を代表して、先の大戦において尊い生命を捧げられました戦没者の方々を偲び、真の恒久平和が実現することを強く願い、誓いのことばを申し上げます。

多くの尊い命が失われた先の大戦から、今年で七十七年を迎えます。その間、日本は焦土から立ち上がり、幾多の困難を乗り越え、目覚ましい発展を遂げました。

現在、私たちが享受している平和と繁栄は、祖国を思い、家族を案じつつ、心ならずも戦場に散っていかれた尊い犠牲の上に築かれたものであり、また、最愛のご家族を失いながらも、その苦しみと戦後の混乱に耐えながら、日本社会を支えてこられたご遺族の皆様の、たゆまぬご努力があることを決して忘れてはなりません。

本日、平和を祈念するにあたり、祖国のために亡くなられた戦没者の方々に対し、深く哀悼の意を表するとともに、ご遺族の皆様に対し、心から敬意を表します。

今、世界では、残虐で理不尽な軍事侵攻が起きている現実があります。国際社会の平和と安全を図るうえで、断じて容認することができない暴挙であり、強い憤りを覚えるとともに、多くの尊い命が失われているという現実には胸が痛みます。

今こそ、私たち一人ひとりが、先の大戦から学び取った多くの教訓を忘れることなく、平和の尊さや、命の大切さを、次の世代を担う若い人たちに引き継ぎ、わが国だけでなく世界の全ての人々の平和と幸福の実現に向け、努めていかなければなりません。

本日ここに平和への決意を新たにし、心豊かに暮らせる社会の実現に向け、英霊がこよなく愛した、この出雲の地の限りない発展のため、本市に関わるすべての人々と『ともに』、市政を着実に『前へ』進め、全力を尽くすことをお誓い申し上げます。

終わりに、戦没者の方々の安らかなご冥福と、ご遺族の皆様のご平安を心からお祈り申し上げますとともに、本日ご列席の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りし、戦没者追悼・平和祈念のことばといたします。

令和4年8月11日

出雲市長 飯塚 俊之